



今月のリポーターは、
佐々木結斗さんです。

中央支所レポート 20 泗水発見!!

5年未満の職員が、地域や農業、農協について興味・疑問・不思議など「何これ?」と思ったことをレポートします。



【自己紹介】

入組2年目、泗水中央支所生活課生活係に所属。休日は、家でゆっくり映画鑑賞したり、ゴルフの練習に行ったりしています。出身は泗水町ですが、行ったことのない町内の気になるところを散策してみました。

赤い大きな鳥居の奥にある神秘的な 「正一位 岡稻荷大明神」 泗水町田島



西暦1508年(永世5年)に、岡村の雅人治郎さんという方がお告げを受けて京都から招き岡集落の祭神(倉稻魂神 天狐に坐乗した神像 木彫一木作り彩色あり)としたそうです。なんと500年以上村人の守り神として祀られています。村では「岡のモクジャどん」と親しまれているそうです。周辺は、ふるさとの森林(岡山)として1985年(昭和60年)には「熊本緑の百景」に選ばれています。近くには岡山古墳群や天神様、薬師様なども祀られています。神社はきれいで、木々に囲まれ隠れた神秘的な場所でした。

恋が実る願掛けスポット

「鼻突地蔵」 泗水町久米



久米集落の西の外れの三差路に、まーい石があります。よく見ると仏像が彫られた四角い石板がはめ込まれており、中央にくぼみがありました。話を聞くと、目を閉じて遠くから歩いて、像の鼻の部分に指先が当たると良縁に恵まれるという伝承があり「鼻突地蔵(はなつきじぞう)」と呼ばれるようになったとのこと。くぼみを触ってみて、昔から幸せになりたい多くの人がチャレンジした努力が感じられました。

まとめ

泗水にこんなところがあるんだと初めての発見でした。岡稻荷は自然の中で、きれいに保たれていて地元の方々の想いを感じました。鼻突地蔵は田舎道にポツンとあり、石の上の看板でわかりました。彫られた仏像はほぼ見えなくなりましたが、後光のような線と中央のくぼみで昔の人の想いを感じることができました。※[菊池遺産]に認定されていました。